

ユーザー事例紹介

JWC 2次元図面を美しいプレゼン・ドローイングに変身させよう！

アズファクトリー様の例(<http://www.az-factory.com/index.htm>)

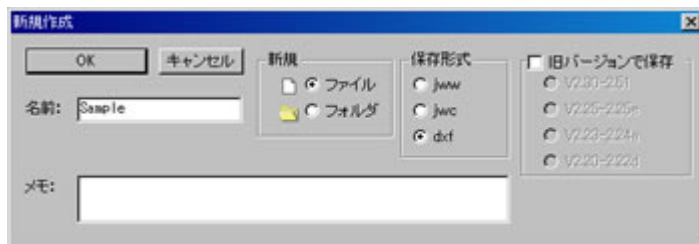
ここでは2Dデータへの取り組みの事例を紹介しよう。

東大阪市に事務所を構えているアズファクトリー。ホームページを拝見すると、そのギャラリーには、実に多数のプレゼン画像が掲載されている。インテリアの3DCGや、エクステリアの3Dパースと並んで、2DCGの項目があり、着彩された立面図や断面図がこれも多数展示されている。注釈によるとJW-CADの2Dデータを元に作成されているとのことだが、具体的にどのような手法でこの画像を作成しているのか、アズファクトリーの澤田桂一郎様に伺ってみた。

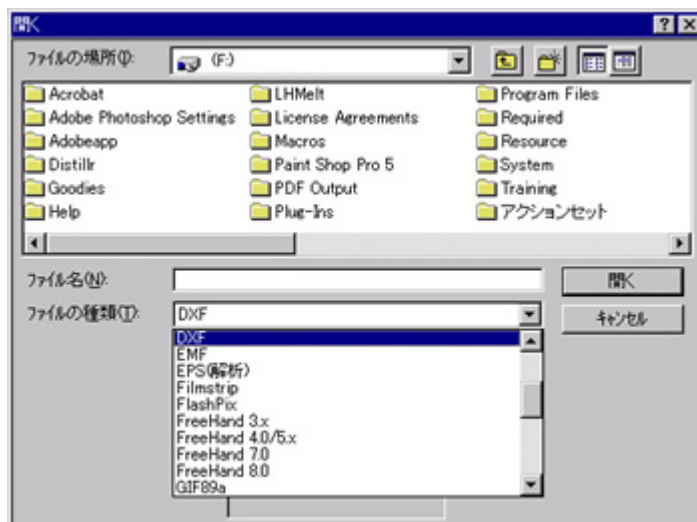


🔄 JW-CAD for Windows から2次元DXFに変換する

「ファイル／DXF形式で保存」コマンドを実行し、「新規」ボタンをクリックする。下記のダイアログで、保存形式としてDXFを選択し、「OK」ボタンをクリックすると、DXF形式で保存される。なお、変換する前に、プレゼン画像に不要と思われる基準線などのラインは消しておこう。





② 2次元 DXF を Illustrator に読み込み、Piranesi の読み込める形式に変換する



Piranesi に読み込める 2D 画像形式は、BMP、PNG、JPEG、PICT、TIFF、TARGA 等なので、これらのいずれかの形式に変換する。ただし、いくら圧縮効率が高いからといって高圧縮の JPEG 画像に変換すると、それにもない画質が劣化して、Piranesi で思うようにペイントするのが難しくなるので注意しよう。また、画像を保存する際には、最終の出力に合わせてイメージサイズの大きさを検討しておく必要がある。

③ ペイント方法について

Piranesi での基本的な 2D ペイント方法は、「カラーロック 」と「塗りつぶし：部分 」ツールを使い、任意の色、任意のテクスチャで閉じた領域をペイントするということになる。

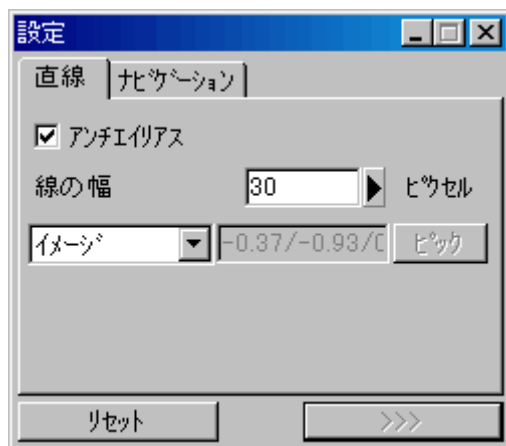


<加工前のデータ>



<加工後のデータ>

また、ところどころ画像に立体感を出したいときは、直線ツールで影を付ける方法がある。直線ツールの設定ウィンドウを見ると「線の幅」という項目があるので、ここで影の厚みを入力する。さらに、その他の項目を下記のように設定して、ペイントしてみよう。



選択色：黒
 ブレンドモード：インク
 効果：30%~40%



<直線ツールを使って影を生成>

🗨 インタビュー

Info r matix
 (以下 IFX)

「Piranesi を使い始めるきっかけは何だったのでしょうか？」

澤田様

「ノンフォトリアルな表現手法に興味を持って導入しました。時間的な問題などで作り込めない CG パースを手軽に見栄えよく仕上げられる可能性を感じたというのがありますね。言い換えれば、ぼかすことでごまかしているとも言えるかもしれませんが。(笑)」

IFX

「Piranesi を使い始めて変わったことはどんなことでしたか？」

澤田様

「短時間で様々な表現のシュミレーションが行え、生産性が向上しました。V3.0 で 2D データへのペイントが可能になり、デジカメ写真や CAD 図面などの成果品を有効に活用できるようになったため、プレゼンテーションの幅が広がったというのも大きいです。結果、同業他社（設計事務所）との差別化ができ、クライアントからは好評を頂いています。」

IFX

「Piranesi の操作性などの使用感はいかがですか？」

澤田様 「導入当初、他のソフトと比較してインターフェースに違和感があり、正直何をどうすれば何ができるのか理解しづらかったのですが、チュートリアルやハンドブックが親切で、比較的動作も軽く、使うほど高機能で、奥の深さを感じました。」

IFX 「最後に Piranesi に対するご意見、ご要望がありましたらお願いします。」

澤田様 「まだ機能すべてを使いこなせていないので今のところ満足していますが、

- 範囲選択や円形作図など作図・加筆機能、レイヤーの充実
- OLE 対応
- 2D データの取り込みでベクターデータのままダイレクトに取り込み

などでできればさらに使い勝手が向上するかなと思います。贅沢な要望ですが・・・。」

IFX 「澤田様、ご協力有難うございました。」



<アズファクトリー様作品例>

他の作品例は、[アズファクトリー様のサイト](#)で、ご覧いただけます。